

## 鹿島市地域おこし協力隊募集要項

### ■業務概要

#### 【募集の目的】

有明海は九州北部に位置する湾で、国内最大級の干満差を誇る広大な干潟を有しています。この干潟は潮の干満によって海水が引いた際に現れる広大な浅瀬で、その特徴的な地形が独特的な生態系を育んでいます。また、干潟の上の運動会「鹿島ガタリンピック」を開催するなど鹿島市民にとって、多様な文化や歴史を育んできた特別な場所です。

このような有明海の干潟が持つ無限の可能性を、遊びながら学び、体験を通して広く発信し、多くの人々にその魅力を伝えることが私たちの目標です。

そこで、干潟の魅力を遊びや学びを通じて体感してもらう企画や仕掛けを創り、情報発信を行い、地域の活性化に貢献していただける「～有明海の干潟で遊んで魅力を伝えよう～ガタわく！ナビゲーター」を募集します。「ガタわく」とは、“潟でワクワクする”という意味を込めています。

今回の活動拠点となる「鹿島市干潟交流館」は、この有明海を一望できる施設で有明海の生物を観察できるミニ水族館も完備しています。また、交流館は「道の駅鹿島」の敷地内にあり、干潟に実際に入って遊ぶことができる「干潟体験」など、多様な楽しみ方もできます。

ワクワクを創出し、地域に新しい風を吹き込むチャレンジ精神あふれる方を心よりお待ちしています。自然と人、人と人がつながる場を、地域おこし協力隊の方々と一緒に創り上げていきたいと思っています。

#### 【活動内容】

##### 1 リピーターを増やす仕掛けづくり

干潟に触れ合い、遊びながら干潟の魅力を体感、体験、発見する。

- ① 道の駅鹿島の干潟体験課と協働し干潟体験、サポート
- ② 干潟の生物の採取、有明海の知識習得につながる体験と取材
- ③ 干潟交流館の来館者の満足度向上の企画（イベント、館内展示など）
- ④ 干潟交流館の来館者へ生物ガイド

実施期間と頻度：干潟体験は、5月下旬から10月末を想定

※着任1ヶ月後を目安に干潟体験を開始します

※イベントや企画はまずは、できることからスタート

※3年目は、定住活動の内容によって頻度は変更可（要相談）

## 2 干潟の取材、情報発信

- ① 体験、取材した内容を SNS で投稿
- ② 水槽のバックヤードの様子を撮影した動画や写真の展示
- ③ 干潟などで取材した素材の情報発信

※動画は専門的な撮影や編集は求めていません。(スライドや簡単な動画)

## 3 干潟交流館への誘客

- ① 道の駅鹿島の利用者を交流館へ誘導する案内サイン制作など
- ② 観光地やイベントでの交流館出張ブースの実施など

< 2か月の流れ (イメージ) >

	月	火	水	木	金	土	日
WEEK 1					■		
WEEK 2		■					
WEEK 3		■					
WEEK 4		■					
WEEK 5		■					

交流館業務 (業務の把握など)  
交流館業務 (生物の把握など)  
交流館業務 (水槽管理サポート)

休み 休み

	月	火	水	木	金	土	日
WEEK 1		■			■		
WEEK 2		■					
WEEK 3		■					
WEEK 4		■					
WEEK 5		■					

交流館業務 (生体維持管理など)  
水槽生物管理 (生物採取など)  
交流館業務 (生体維持管理など)  
干潟体験 (5-10月のみ)  
干潟体験課サポート、ガタリンピック体験

休み 休み

<着任1年目のスケジュール例（4月着任の場合）>

- |         |                                |
|---------|--------------------------------|
| 4月      | 関係者へのあいさつ回り                    |
| 5月～6月   | 交流館業務、干潟体験（ガタリンピック体験など）        |
| 7月～8月   | 有明海の生物採取、干潟体験（干潟体験課サポート）       |
| 9月～10月  | 干潟の生物の知識習得につながる取材              |
| 11月～12月 | 有明海のガイド知識習得につながる取材             |
| 1月～2月   | 来館者の満足度向上のイベント企画、展示など（できることから） |
| 3月      | 1年間の活動の報告会                     |

■募集対象

- (1) 地域おこし協力隊の地域要件に準じて三大都市圏及び三大都市圏以外の政令指定都市（ただし、条件不利地域を除く）などから生活の拠点を鹿島市に移し、住民票を異動させた者
- (2) 普通自動車免許を有している者（A T限定可）
- (3) パソコンの基本的な操作（ワード、エクセル、メール等）ができる者
- (4) 地方公務員法第16条の欠格事項に該当しない者

■募集人員 1人

■勤務地 基本、鹿島市役所（商工観光課）で朝礼を行う。主な活動拠点は「道の駅鹿島」にある「鹿島市干潟交流館」、活動内容によって、体験や取材の受け入れ先で勤務

■勤務時間

1日当たり7時間勤務：午前8時30分～午後4時30分（休憩は正午～午後1時）

週5日：月曜日～金曜日 を基本とします。

※活動内容により休日や時間外勤務もあります。

■任用形態・期間

- (1) 鹿島市の会計年度任用職員として鹿島市長が任用（採用）します。
- (2) 任用の開始時期は任用内定者と協議のうえ決定し、任期は採用年度の年度末（3月31日）までとします。その後は市が認めた場合は、任用期間を最長3年まで延長します。
- (3) 市が協力隊員としてふさわしくないと判断した場合には、任用期間中であってもその職を免ずることができるものとします。

■給与

月額20万9,923円（別途、期末手当と家賃補助の支給あり）

■待遇・福利厚生

- (1) 社会保険（共済組合、厚生年金）、雇用保険に加入します。

※自己負担があります。

- (2) 年次有給休暇は、市の規定に準じます。
- (3) 活動に使用するパソコンは、市が貸与します。
- (4) 活動に使用する車両は、公用車を使用することができます。  
※ただし、活動以外での使用はできません。
- (5) 活動に必要な消耗品等は、予算の範囲内で市が提供します。
- (6) 研修への参加に係る旅費及び負担金は、予算の範囲内で市が負担します。

#### ■応募申込方法

応募申込書を下記の申込・問い合わせ先に郵送またはE-mailで提出してください。  
応募申込書には、写真の貼付けが必要です。E-mailで提出する場合は、応募申込書の写真添付欄にデータを添付してください。

#### 申込・問い合わせ先

〒849-1312

佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1

鹿島市役所 産業部 商工観光課 観光振興係（担当：川原・伊東）

TEL：0954-63-3412

FAX：0954-63-2313

E-mail：rousei@city.saga-kashima.lg.jp

#### ■申込受付期間

令和7年12月3日～令和8年1月12日

#### ■審査方法

##### ①第一次選考（書類選考）

選考結果は、合格者にのみ通知します。通知は、1月下旬頃に郵送で予定しております。

##### ②第二次選考（現地面接） 2月10日（火）～2月12日（木）予定

第一次選考合格者を対象に、鹿島市役所にて面接を行います。

なお、第二次選考に係る現地までの交通費は応募者の個人負担となります。

#### ■参考URL

<https://www.city.saga-kashima.lg.jp/>

#### ■備考

##### 【求める隊員像】

- ・自然に触れ合う干渉体験にも積極的に挑戦できる方
- ・人と触れ合うことが好きな方

- ・様々な体験、取材を行っていく体力のある方
- ・地域の方と楽しみながら交流できる方
- ・任期終了後、鹿島市への定住を前向きに検討できる方

【歓迎するスキル】

- ・動画編集の経験がある方
- ・S N Sでの情報発信に慣れている方